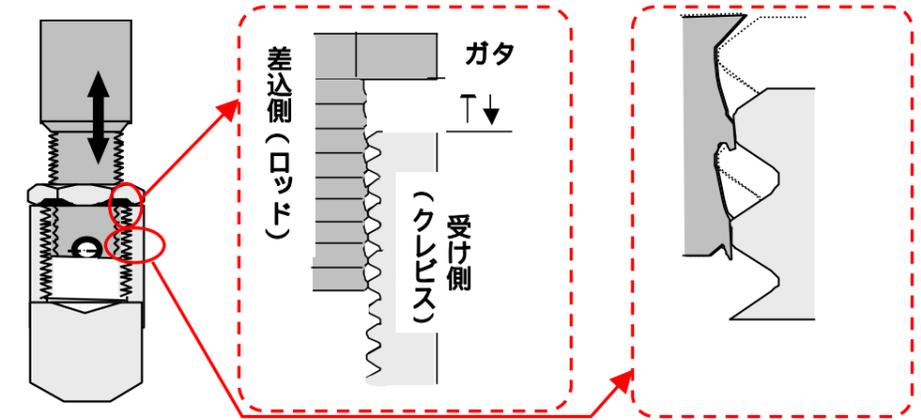
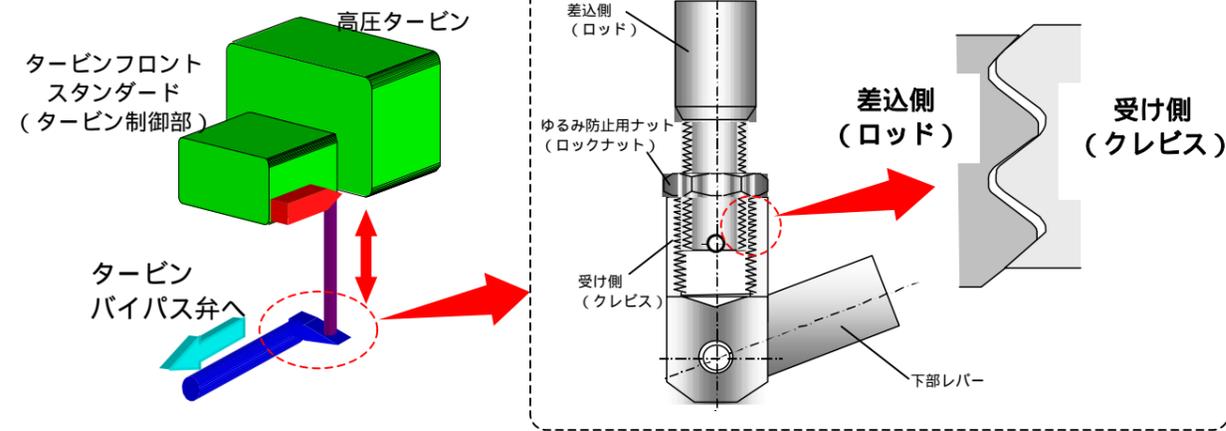


# タービンバイパス弁駆動機構連結部の外れ事象の推定メカニズム

第 2 回定期検査後（昭和 47 年）の当該連結部を交換後の状態

主タービントリップ・リセット操作に伴うタービンバイパス弁の動作により残存する差込側ねじ山の一部分が削り取られ、大きなガタつきが発生



ロックナットの締め付け不足の状態、タービンバイパス弁が開閉したため、差込側のねじ山が摩耗

連結部に生じた大きなガタつきにより、タービンバイパス弁の駆動機構に振動が発生・継続して当該連結部が外れた

